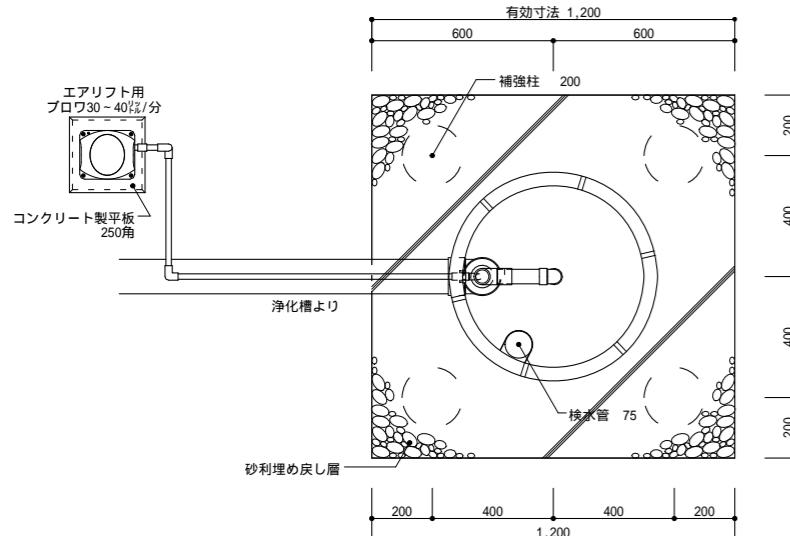
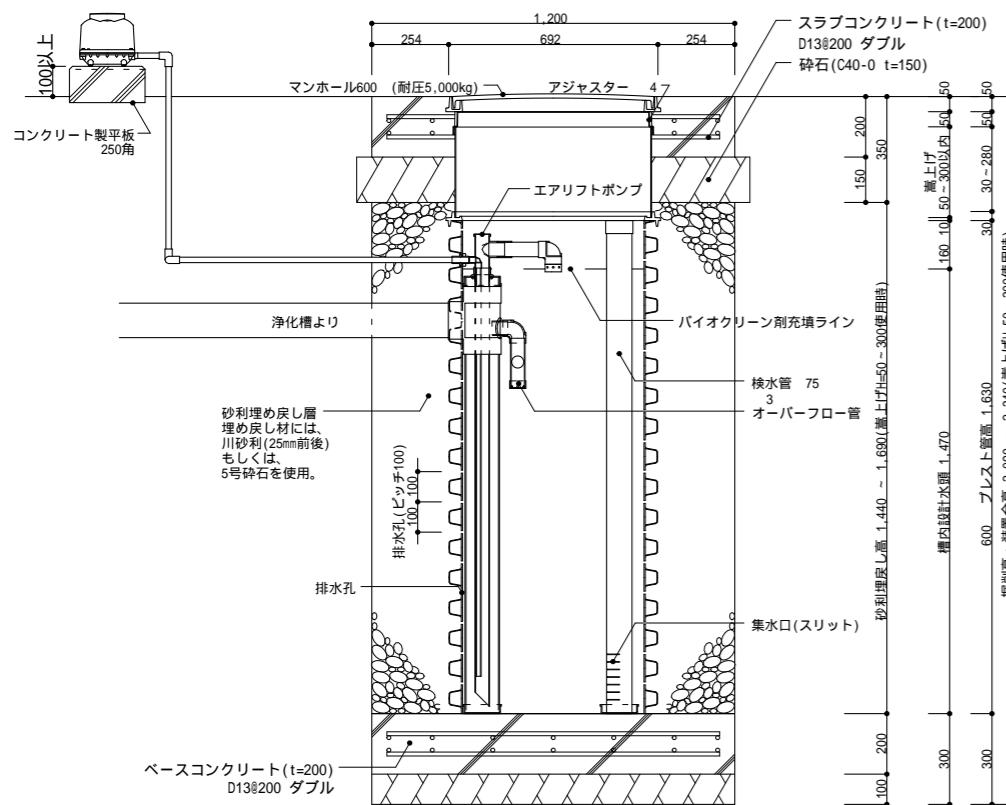


平面図1 1/25



4 アジャスターと鋸鉄製IH枠を嵩上げ材の上に取り付けた状態で埋設高さになるように嵩上げ材をカットしてください。この時、嵩上げ材についている枠は使用しません。

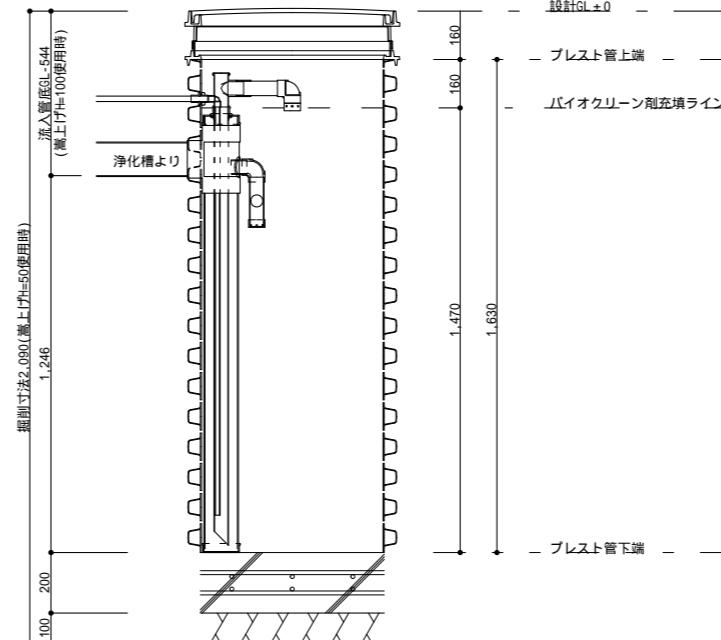
断面図 1/25



3 オーバーフロー管に異物混入防止ネットを取り付ける。

備考
1 対応する合併浄化槽は、自然流出で放流ポンプの付かないタイプの浄化槽です。
2 嵩上げは最低でも50mmは使用するものとし、最大でも300mm以内の使用に止める事。

展開図 1/25 (最低嵩上げ高 H=50の場合)

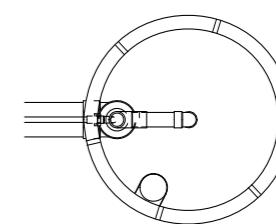


工事仕様書

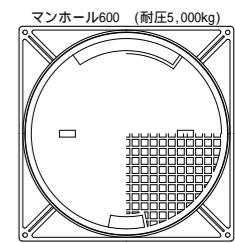
処理人槽	合併浄化槽 10人槽用 重耐圧仕様
システム構成	692(mm) H=2,050 x 1ユニット 嵩上げH=300使用時
有効寸法	1.2 x 1.2 x 1.470 (m)
有効面積	7.056 (m ²)
処理能力水量	2,232 (L/d)

- 敷地条件・地質状況・地下水位等により、槽寸法・槽形状が変更になる場合があります。
- 当仕様は掘削壁面透水係数を2.50E-04 cm/sと設定し算出したものです。
- プロワ付近にアース付きコンセントを設置のこと。機器電源は単相100Vとする。
- 槽本体からプロワまでの距離は5m以内とする。
- 1時間あたりの当装置への流入量のピークは1,440L以内とする。

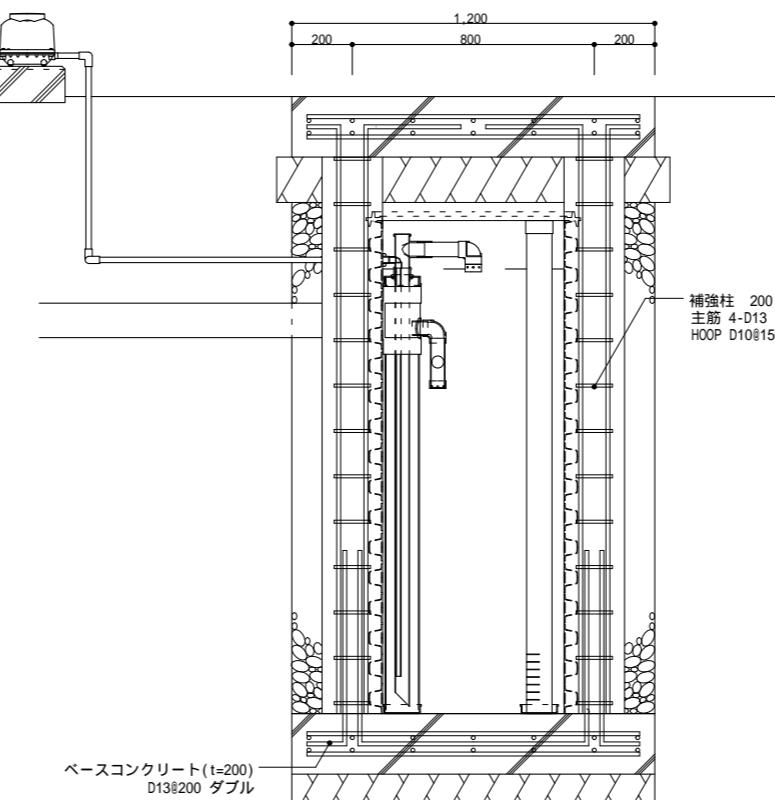
平面図2 1/25
プレスト管排水孔



平面図3 1/25
上部マンホール



断面図 1/25



作成日：2025年 9月 30日